

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
I-1- (1)-① 仕事と 子育て の両立 支援	1	③ ④ ⑧ ⑯	放課後児童ク ラブの管理運 営	子育て支 援課	市民ニーズに応 えられる放課後児 童クラブの運営内 容を確保するた め、運営団体に対 する研修会の実 施、開設時間の標 準化や延長の推 進等により、運営 体制の充実を図 る。また、障害の ある児童や高学年 児童を含め利用 者が増加する中 で、児童への対 応を充実するた め、適切な指導 員数を配置する とともに、研修 の充実、指導員 相互の交流や情 報交換、障害の ある児童などの 対応を支援する ための臨床心理 士等の巡回派遣 を行い、指導員 の資質向上を図 る。	放課後児童クラブ の利用を希望する 児童の受け入れ	100% (R1年 度)	目標	100 %	100 %	100 %	100% (毎年 度)	継続	2,615,120	2,677,265	維持	50,750	順調	放課後児童クラブの施設整 備や利用内容の充実など、引 き続き運営基盤を強化する。 放課後児童支援員等の資質 向上など、放課後児童クラブ の運営体制の充実を図ると ともに、クラブの活動内容の充 実を目指して、学校や地域と の連携を図り、魅力あるクラ ブの運営を促進する。 乳児・幼児期の教育・保育 を「北九州市子ども・子育て 支援事業計画」に基づき、計 画的に提供していく。また、 教育・保育施設の利用状況や 利用者の希望とともに、幼稚 園、保育所事業者の意向など を踏まえ、幼稚園と保育所の 機能を併せ持つ認定こども園 への移行支援・普及に努め る。
							実績	100 %											
	2	③ ④ ⑧	保育所運営事 業	保育課	仕事と子育ての 両立支援を推進 するため、保育を 必要とする子ども は誰でも保育所 に入所でき、多 様なニーズに応 えながら、子ども の健やかな育成 を支援する保育 サービスの実現 を図る。	保育所待機児童数 (4月)	0人 (R1年 度)	目標	0 人	0 人	0 人	0人 (毎年 度)	継続	12,571,578	12,514,989	維持	5,800	順調	「北九州市子ども・子育て 支援事業計画」を着実に進 め、認定こども園への移行支 援や保育所の老朽改築に合 わせて入所定員の拡大を図 るとともに、保育士が働き やすい環境を整備すること によって保育士確保に取 り組み、待機児童の継続 的な解消を図る。
							実績	0 人											
						保育所待機児童数 (10月)	0人 (R1年 度)	目標	0 人	0 人	0 人	0人 (毎年 度)							
								実績	0 人										
								達成率	100.0 %										

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標	
3	③ ④ ⑧		幼稚園・認定 こども園運営 事業	幼稚園・ こども園 課	私立幼稚園（新 制度対象）や認定 こども園の運営費 を助成する。	保育所待機児童数 (10月)	目標	0	人	0	人	0	人	0人 (毎年 度)	継続	10,306,779	11,836,384	増額	5,400	順調	新制度の幼稚園及び認定こども園への移行が増えており、今後も引き続き新制度に移行する私立幼稚園及び認定こども園に対して支援を行っていく。
							実績	0	人												
達成率	100.0	%																			
					施設型給付へ移行 する私立幼稚園数	26箇所 (R1年 度)	目標	31	箇所	31	箇所	37	箇所	希望園 の 全てが 移行 (R6年 度)	継続	10,306,779	11,836,384	増額	5,400	順調	新制度の幼稚園及び認定こども園への移行が増えており、今後も引き続き新制度に移行する私立幼稚園及び認定こども園に対して支援を行っていく。
							実績	31	箇所												
							達成率	100.0	%												
I-1- (1)-② 年間を通じた 待機児童解消 策の推進など 保育の充実	4	④ ⑧	一時預かり事 業	幼稚園・ こども園 課	「子ども・子育て 支援新制度」に より実施する一時 預かり事業にお いて、保護者の ニーズに応じて 教育時間の終了 後等に預かり 保育を実施する 私立幼稚園を 支援する。	事業（幼稚園型） を実施する施設数	目標	63	箇所	前年度 同水準	前年度 同水準	60箇所 (R6年 度)	継続	209,098	209,098	維持	4,650	順調	引き続き、幼稚園が実施する一時預かりに要する費用を助成し、子ども・子育て支援の推進を図る。		
							実績	64	箇所												
達成率	101.6	%																			
5	④ ⑧		特別保育事業 補助	保育課	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、保育所の保育時間を午後7時もしくは8時まで延長する「延長保育」の充実を図る。また、保護者のパート就労や育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育する「一時保育」の充実を図る。さらに、保育所の通常保育に加え、延長保育や一時保育においても、集団保育の可能な障害のある児童の受け入れを行う「障害児保育」の充実を図る。	午後7時まで延長 保育を実施する施設 の割合	目標	前年度 (94.2%) 同水準	前年度 同水準	前年度 同水準	現状値 と同水 準 (R6年 度)	継続	676,623	623,720	減額	3,650	順調	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、事業を継続する。			
							実績	94.5	%												
達成率	100.3	%																			
					一時保育事業の実 施施設の割合	56.2% (R1年 度)	目標	前年度 (56.7%) 同水準	前年度 同水準	前年度 同水準	現状値 と同水 準 (R6年 度)	継続	676,623	623,720	減額	3,650	順調	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、事業を継続する。			
							実績	58.5	%												
							達成率	103.2	%												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
6	③ ④ ⑧		病児保育事業	保育課	保護者の勤務の都合、疾病、事故、出産及び冠婚葬祭など、やむをえない事由により家庭での保育が困難な病児中、病児回復期にある児童を医療機関併設型の施設において保育し、保護者の子育てと就労の両立を支援する。	病児保育施設利用者数	9,029人 (R1年度)	目標	前年度比 (3,595人) 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	継続	192,905	170,257	減額	2,900	順調	「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」に基づき、病児保育事業を推進するため、引き続き新規施設の設置や既存施設への支援を実施する。 事業費については、実績に応じた見直しをした結果、令和4年度比減となっている。	
								実績	5,908 人											
								達成率	164.3 %											
7	③ ④ ⑧		保育サービス コンシェル ジュ事業	保育課	保育所、幼稚園や地域の子育て支援の事業等の利用について、情報の収集と提供を行うとともに、利用にあたり、子どもや保護者からの相談に応じるため、各区役所及び「ウーマンワークカフェ北九州」に保育サービスコンシェルジュを配置する。	保育所待機児童数 (4月)	0人 (R1年度)	目標	0 人	0 人	0 人	0人 (毎年 度)	継続	32,946	34,846	増額	2,900	順調	保育の利用を希望するそれぞれの世帯の状況やニーズに合った保育サービスの情報提供を行うため、引き続き、全区で12名を配置し、待機児童対策に取り組む。	
						実績	0 人													
						達成率	100.0 %													
						保育所待機児童数 (10月)	0人 (R1年度)	目標	0 人	0 人	0 人									0人 (毎年 度)
						実績	0 人													
						達成率	100.0 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標	
8	③ ④ ⑤		保育士等の確保	幼稚園・こども園課 保育課	<p>待機児童の解消を図るため、下記の事業により保育士等の人材確保に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士就職支援事業（保育士資格取得見込の学生等を対象とした就職説明会・保育士の資格等を持っていて、現在、保育士の職に就いていない人を対象とした研修）</li> <li>・保育士・保育所支援センター事業等（保育士の再就職支援や相談等による離職防止）</li> <li>・幼稚園教諭免許状を有する者の保育士資格取得支援等事業（幼稚園教諭の保育士資格取得支援や幼稚園への就職支援等）</li> <li>・予備保育士雇用費補助事業（年度当初に配置基準を超えて雇用した保育士の人件費の一部を補助）</li> <li>・保育士宿舍借り上げ支援事業（市内保育所・認定こども園を運営する法人が保育士の宿舍を借り上げるための費用の一部を助成）</li> <li>・若年層保育士に対する処遇改善事業（経験年数3年未満の職員の就職時準備金や賃金改善に要する費用の一部を補助）</li> </ul>	保育所待機児童数 (10月)	0人 (R1年 度)	0人	0人	0人	0人	0人 (毎年 度)	継続	147,807	122,398	減額	15,100	順調	<p>引き続き関係機関との連携を図ると共に、情報発信に努め、保育士や保育士資格取得見込者の保育所等への就職支援の充実を図る。</p> <p>特に、若年層保育士の他職種や市外への流出を抑制するため、市独自の処遇改善を実施する。</p> <p>また、保育士就職支援事業のさらなるPRや、保育士宿舍借り上げ支援事業等を継続実施することで、保育士の確保を図る。</p>		
							目標	0人	0人	0人											
							実績	0人													
							達成率	100.0%													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標	
I-1-(1)-③ 母子が健康に生活できる環境づくり	9	③	母子健康診査	子育て支援課	妊婦や乳幼児の疾病または異常の発見および防止を図り、健康を保持増進させるため、妊婦、乳幼児の定期的な健診の機会を提供する。 (妊婦健康診査、B型肝炎母子感染防止事業、先天性代謝異常等検査、乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査)	妊婦健診受診率	96.7% (R1年度)	目標	前年度水準(96.8%)を維持	前年度水準を維持	前年度水準を維持	R1年度水準を維持(R6年度)	継続	881,550	847,163	維持	3,615	順調	R5年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等) 妊婦健康診査、乳幼児健康診査を継続して実施し、妊婦や乳幼児の健康の保持増進を図る。	順調	R5年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等) 今後も、国の動向を注視しながら、関係機関とうまく連携し、妊娠や乳幼児の疾病または異常の早期発見・早期支援に取り組み、子育ての孤立化や育児不安の解消に努めていくとともに、様々な機会を通じ、育児に関する相談など専門的な支援や情報提供を行い、母子の健康づくりに寄与していく。
							実績	99.2 %													
							達成率	102.5 %													
10	③		子ども医療費支給事業	子育て支援課	子どもの健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療に係る医療費の自己負担額を助成する。	医療費支給制度の維持	—	目標	維持	維持	維持	維持	継続	3,284,000	3,217,000	維持	12,300	順調	子育てに関する経済的な負担を軽減し、子どもの健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療に係る医療費助成を継続して実施する。 助成対象を、令和3年4月より中学生の通院費まで、令和4年1月より18歳までの入通院費まで拡充した。		
							実績	維持													
							達成率	—													
11	③		すくすく子育て支援事業	子育て支援課	母子健康手帳の交付、妊産婦乳幼児なんでも相談、母親学級、両親学級、育児学級等の母子保健教室、乳幼児発達相談指導「わいわい子育て相談」、乳幼児健診未受診者フォロー事業(児童虐待予防事業)、その他母子保健に関する事業を実施する。	なんでも相談の実施率	100% (134箇所) (R1年度)	目標	前年度水準(117箇所)を維持	前年度水準を維持	前年度水準を維持	R1年度水準を維持(R6年度)	継続	17,040	22,532	その他	6,150	順調	育児の孤立化を防ぐため、引き続き妊娠・出産・育児における保健事業を実施する。		
							実績	129 箇所													
							達成率	110.3 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
12	⑤		のびのび赤 ちゃん訪問事 業	子育て支 援課	子育ての孤立化 を防ぎ、乳児の健 全な育成環境の確 保を図るため、生 後4か月までの乳 児がいるすべての家 庭を訪問すること で、子育て情報の 提供を行うととも に、さまざまな不 安や悩みを聞き、 支援が必要な家庭 に対して適切な指 導や支援、サービ ス提供に結びつけ る。また、うつ状 態等を早期に把握 し、きめ細かに支 援するため、全産 婦に産後うつを早 期に発見するため の質問票を用い て、支援する。	生後4か月までの 乳児家庭全戸訪問 の達成率	94.6% (R1年 度)	目標	前年度比 (91.4%) 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	継続	47,984	47,984	維持	4,115	順調	子育ての孤立化を防ぎ、地 域での見守り体制を充実して いくために、引き続き関係機 関と連携し、より効果的な事 業の推進を図る。
								実績	94.3 %										
								達成率	103.2 %										
13	③ ⑬		妊娠・出産・ 養育にかかる 相談・支援事 業	子育て支 援課	若年の妊婦や産 後うつなど、養育 支援を必要とする 家庭に対し、訪問 指導員を派遣し、 家事を支援すると ともに、思いがけ ない妊娠等に悩む 女性に対する電話 相談等を実施す る。 また、多胎妊産 婦の育児等の負担 感や孤立感を軽減 するための支援を 行う。	養育支援ヘルパー 実施	実施 (R1年 度)	目標	継続実施	継続実施	継続実施	継続 実施 (R6年 度)	継続	65,820	62,906	維持	4,115	順調	引き続き、養育支援が必要 な方へのヘルパー派遣、こん にちは赤ちゃん！小児科訪問 (ペリネイタルビジット) 事 業を実施する。また、出産直 後の母子に対して、心身のケ アや育児のサポートを行う産 後ケアを実施し、安心して子 育てができる支援体制を構築 するとともに、産後うつを早 期に発見するため、産後健康 診査等への支援を行うなど産 後ケア体制の充実（産婦への 心理的ケアや保健指導、健康 診査費用の助成、多胎児に関 する育児支援）を図り、産 前、産後支援について一体的 に取り組んでいく。 予期せぬ妊娠や不妊、不育 症などの専門相談についても 引き続き取り組んでいく。
								実績	実施										
								達成率	—										
14	⑤		一般不妊治療 費等助成事業	子育て支 援課	医療保険が適用 されず高額な医療 費がかかる配偶者 間（事実婚を含 む）の不妊検査・治療に関する 費用を一部助成す る。	一般不妊治療及び 不育症検査・治療 の費用助成の実施	—	目標	実施	実施	実施	継続 実施 (R6年 度)	継続	3,579	1,919	減額	4,115	順調	医療保険が適用されず高額 な医療費がかかる配偶者間 (事実婚を含む)の不妊検査 ・治療に関する費用を一部 助成し、経済的負担の軽減等 を図る。
								実績	実施										
								達成率	—										

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価		【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
I-1-(1)-④ 子育ての不安や悩みを軽減する環境づくり	15	⑤	子育てに関する情報提供の充実	総務企画課	子育て中の人が、子どもの成長に合わせた情報をタイムリーかつ手軽に入手できるような、情報誌の内容や、情報提供方法の充実を図り、必要とする市民に子育ての情報を的確に届ける。 また、本市が取り組んでいる子どもの健全育成や子育て支援についての成果や課題、データを盛り込んだ「子ども家庭レポート」を発行し、市民や地域の担い手に周知することで、地域全体で子育てを支援する環境づくりの一助とする。	「こそだて情報」及び「子ども家庭レポート」による情報提供の実施	発行 (R1年度)	目標 発行	実績 発行	達成率 —	発行の継続 (毎年度)	継続	5,002	4,909	維持	6,150	順調	子育て中の人が、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるように、情報誌の内容の充実を図る。	身近な地域における子育てを支えるネットワークづくりなど、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進める。 親子ふれあいルームや子ども・家庭相談コーナーの相談員等の資質向上を図るなど、子育てに悩みや不安を持つ保護者が、分かりやすく利用しやすい相談体制の維持に努める。 子育て中の人が知りたい情報をタイムリーに手軽に入手できるように、情報誌やホームページなどを活用した情報提供を行う。
	16	⑤ ⑪ ⑰	親子ふれあいルーム運営事業	子育て支援課	乳幼児を持つ保護者の子育てへの不安を軽減し、親子が気軽に集い、交流、情報交換、育児相談等ができるスペースを区役所や児童館などで運営する。	親子ふれあいルーム利用者数（乳幼児数）	31,889人 (R1年度)	目標 前年度比 (15,470人) 増加	実績 20,764人	達成率 134.2%	R1年度 比 増加 (R6年度)	拡大	38,660	38,607	維持	7,275	大変 順調	親子ふれあいルームの質の向上や利用促進を図るため、運営スタッフへの研修の実施やコロナ禍での運営方法等、親子が安心して利用できるよう引き続き検討していく。	
	17	⑤ ⑱	子ども・家庭相談コーナー運営事業	子育て支援課	各区役所に「子ども・家庭相談コーナー」を設置し、子どもと家庭に関するあらゆる相談をひとつの窓口で受け、ひとり親家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげる。	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	35.5% (R1年度)	目標 前年度比 (40.9%) 減少	実績 41.1%	達成率 99.5%	R1年度 比 減少 (R6年度)	継続	124,815	123,676	維持	6,075	順調	子どもや家庭に関する相談内容は、複雑かつ多岐にわたっており、引き続き相談体制を維持し、子育ての負担を感じる方への迅速かつ適切な支援を図る。	
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	41.6% (R1年度)	目標 前年度比 (39.6%) 減少	実績 44.4%	達成率 87.9%	R1年度 比 減少 (R6年度)									

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施					【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
18	③		子育て支援総合コーディネーター事業	保育課	「子育て支援サロン“びあちえーれ”」に子育て支援総合コーディネーターを配置し、面接、電話やメールによる子育てに関する相談の対応を行い、必要な関係機関との連携、調整等の支援を行う。 また、大学教授や小児科医、保育経験者等を講師に招き、子どもの発達や食育、遊び等をテーマとした育児講座の開催や絵本の貸出を行い、子育て支援の充実を図る。	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	35.3% (R1年度)	目標 前年度比 (40.9%) 減少	前年度比 減少	前年度比 減少	R1年度 比減少 (R6年 度)	継続	13,874	13,942	維持	4,150	順調	子育て相談体制を整備し、関係機関との連携もさらに深めて情報収集を行いながら、子育て支援の充実を図る。今後も子育て世代のニーズを把握して育児講座を開催する。		
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	41.6% (R1年度)	目標 前年度比 (39.6%) 減少	前年度比 減少	前年度比 減少	R1年度 比減少 (R6年 度)										
I-1-(1)-⑤ 特別な 支援を 要する 子育て 家庭へ の対応	19	① ③ ⑩	母子・父子福祉センター運営事業	子育て支援課	「母子・父子福祉センター」において、ひとり親家庭や寡婦の生活上の悩みや相談を受けたり、仕事のために必要な知識や技能を身につけるための講座等を無料で実施する。その他各種研修会や催し等を行い、ひとり親家庭等の生活の安定、福祉の向上を目指す。	母子・父子福祉センターの延べ利用者数	10,446 人 (R1年 度)	目標 前年度比 (9,059人) 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	継続	41,200	41,200	維持	1,480	順調	引き続き、就業支援講習会やキャリアカウンセラーによる自立支援プログラム策定などの就業支援に取り組むとともに、様々な機会を通じて母子・父子福祉センターをPRし認知度を上げるよう努める。	順調	ひとり親家庭に対しては、自立に必要な制度や事業を確実に活用できるよう、情報提供を充実するとともに、引き続き総合的な支援を行っていく。 家庭的養護を推進するための里親等への委託、地域小規模児童養護施設等での養育を進めるなど、子どもにあった養育環境の充実に取り組むとともに、子どもたちへの支援をさらに充実するため、職員の資質の向上等を図る。また、就職・進学に際し、児童が希望する進路を選択できるよう、自立に向けた支援を行う。
20	③		里親制度・特別養子縁組の推進	子ども総合センター	里親の新規開拓や里親家庭の支援等を通じて里親委託を推進し、委託率の向上を目指す。 加えて、里親制度と合わせた普及啓発を行う等により、子どもにとって永続的に安定した養育環境を提供できる特別養子縁組についても推進する。	要保護児童に対する里親・ファミリーホームの委託率	23.0% (R1年 度)	目標 25.0 %	27.0 %	29.0 %	29.4% (R6年 度)	継続	3,010	3,010	維持	20,950	順調	NPOや里親支援専門員等の関係機関とも連携した里親養育包括支援業務の推進体制の構築を目指す。 民間を主体とした「子ども食堂」の活動をさらに広げるため、市民や地域・企業等に理解と参加を促し、支援の輪を広げていく。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施		【Check】 評価 / 【Action】 改善																	
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
21	③ ⑬		児童養護施設 等小規模化・ 高機能化等、 体制強化の推 進	子育て支 援課	児童養護施設・ 乳児院・児童心理 治療施設・児童自 立支援施設・自立 援助ホーム・ファ ミリーホーム・里 親において、保護 を要する児童に係 る必要な経費を負 担し、社会的養護 が必要な子ども が、それぞれの子 どもにあった生活 環境で、健やかに 生まれ、自立でき る社会環境づくり を推進する。	地域小規模児童養 護施設実施箇所数	6箇所 (R1年 度)	目標 前年度比 (6箇所) 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	拡大	3,058,409	3,056,630	維持	12,825	大変 順調	児童養護施設の機能強化や 家庭的養護推進のため、地域 小規模児童養護施設の増設な ど小規模かつ地域分散化の推 進、家庭支援専門相談員の増 員や自立支援担当職員の配置 を行う。 また、児童養護施設等に入 所措置を受けていた児童（若 者）について、退所後も22歳 の年度末までより手厚く支援 が行えるよう居住費・生活費 などの支援の拡充を図る。	
22	① ③		養育費確保サ ポート事業	子育て支 援課	公正証書作成に 係る手数料や養育 費立替に係る保証 契約を締結した場 合の保証料の助 成、養育費全般に ついての相談を受 けるアドバイザー を設置し、養育費 不払い解消を図 る。	公正証書作成、保 証料助成申請件数	44件 (R3年 度)	目標 57 件	前年度比 増加	前年度比 増加	R3年度 比 増加 (R6年 度)	継続	3,600	3,600	維持	1,480	順調	ひとり親家庭が養育費を確 実に受け取り、子どもが経済 的な不利益を被らないように するため、養育費不払い解消 に向けた事業を行う。	
23	③ ④		親子通園事業	保育課	幼児期の子ども の発達や育児に関 して、不安や孤独 感を抱えている保 護者にとっては、 思いを共有し、気 兼ねなく安心して 親子で過ごせる場 所を提供する等、 伴走型の支援が必 要である。あそび や体験等を通じ て、子育ての楽し さや成長の喜びを 保護者が感じられ よう保育所で継 続した支援を行 い、適切な施設へ の移行等の相談に 対応する。	利用者の満足度	100% (R1年 度)	目標 100 %	100 %	100 %	100% (R6年 度)	継続	1,979	2,310	増額	4,650	順調	親子通園を実施する3施設 の状況を検証しながら、関係 機関との連携を密にし、発達 が気になる子どもや育児に不 安を持つ保護者に対して、継 続した支援を行う。さらに、 活発にPR活動を行い、地域の 実情に合わせ、支援を必要と している親子への情報周知を 図る。	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標	
	24	③ ⑫	児童虐待防止 (子どもの人 権擁護) 推進 事業	子ども総合 センター	児童虐待の早期 発見及び被虐待児 童の迅速かつ適切 な保護を行うた め、関係機関との 連携強化を図り、 児童虐待の防止等 のために必要な体 制を整備するとと もに、関係機関等 の職員の研修を行 う。	児童虐待による死 亡事案の発生件数	0件 (R1年 度)	目標	0 件	0 件	0 件	0件 (毎年 度)	継続	41,262	30,702	その他	76,500	順調	子ども総合センターの職員 がより深刻なケースに集中し て対応できるよう、児童の安 全確認の一部をNPO法人に委 託する事業を継続して実施 し、積極的に活用する。		
								実績	0 件												
	25	③ ④ ⑫	子ども食堂開 設支援事業	子育て支 援課	さらなる「子ど も食堂」の普及促 進を目指すため、 コーディネーター の配置や開設補助 など、民間を主体 とした「子ども食 堂」の活動を支援 する。	市内子ども食堂の 実施箇所数（民 間）	30箇所 (R1年 度)	目標	R1年度比 増加	R1年度比 増加	R1年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	拡大	6,597	7,397	増額	11,615	大変 順調	開設支援や運営支援等の補 助金交付、コーディネーター の継続的な配置など、子ども 食堂の新規開設や運営がしや すい環境づくりを継続する。		
							実績	42 箇所													
								達成率	100.0 %												
I-1- (1)-⑥ 地域など行政の連 携・協働による子 育て支援の推進	26	⑤ ⑫ ⑫	ほっと子育て ふれあい事業	子育て支 援課	仕事の都合や子 どもの軽い病気の 時に、ボランティア 組織「ほっと子 育てふれあいセン ター」の会員間で 子どもの預かりや 送迎など、子育て 支援サービスの充 実を図る。	相互援助活動件数	7,569件 (R1年 度)	目標	前年度比 (4,625件) 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	継続	14,500	15,000	維持	1,865	大変 順調	子育て世帯への支援に資す るため、引き続き会員との信 頼関係の確立や地域における 子育て支援ネットワークづく りを進める。	順調	身近な地域における子育て を支えるネットワークづくり やお互いの助け合い、民間事 業者との連携など、地域社会 全体で子育てを支援する環境 づくりを進める。また、子育 て家庭のそれぞれの状況に応 じて、必要な支援を届けるこ とのできる環境づくりを進め る。
								実績	6,088 件												
								達成率	131.6 %												
	27	⑤ ⑫ ⑫	みんなの子育 て・親育ち支 援事業	子育て支 援課	乳幼児の親同士 が交流を通じて、 自主的な活動を行 えるよう育児サー クルを支援する。 また、自由に参 加・利用できるフ リースペースの活 動を支援するとと もに、地域で子育 てをしやすいシ ステムづくり、仲 間づくりを支援す る。	市内で活動する育 児サークル等の団 体数	440団体 (R1年 度)	目標	前年度比 (437団体) 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	拡大	5,729	5,861	維持	6,400	順調	子育てに関わる団体の自主 的な活動をさらに活発化させ るため、補助件数の増加等、 支援内容について継続的に検 討していく。		
								実績	440 団体												
								達成率	100.7 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標			
I-1-(2)-① 幼児教育の充実	28	⑤ ⑪ ⑰	赤ちゃんの駅登録事業	総務企画課	官民が協力して、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やオムツ替えができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを行う。	「赤ちゃんの駅」登録施設数	459施設 (R1年度)	目標 前年度比 (496施設) 増加	実績 512 施設	達成率 103.2 %	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年度)	継続	1,305	1,305	維持	4,400	順調	登録施設の新規開拓に取り組むとともに、「赤ちゃんの駅」の認知度向上や利用促進に向けたPR活動を行い、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを引き続き進める。		
	29	③ ④ ⑧	幼児教育の振興・子育て支援機能の充実	幼稚園・こども園課	本市の幼児教育の振興と子育て支援機能の強化を図るため、私立幼稚園での幼児教育環境の整備（施設の設備や備品・教材等の購入など）や預かり保育、子育て相談、体験保育などの子育て支援機能の充実に対する助成を行う。	幼稚園に対する満足度（教育・保育の内容）	86.6% (R1年度)	目標 前年度比 (87.7%) 向上	実績 89.0 %	達成率 101.5 %	前年度比 向上	前年度比 向上	前年度比 向上	R1年度 比 向上 (R6年度)	継続	408,400	403,204	維持	6,190	順調	子育て支援機能の充実及び私立幼稚園教育の振興のため、引き続き助成を実施すると共に、特別な教育的支援を必要とする幼児の就園先の確保のため、協定を締結した園に対する助成を継続する。		
	30	④ ⑰	保育所、幼稚園、小学校の連携	幼稚園・こども園課	保育所、幼稚園の保育環境から小学校の学習環境への円滑な接続を図るため、公私、保幼小の代表者で構成する「保幼小連携推進連絡協議会」を設置し、年1～2回協議を行う。また、保幼小連携担当者を対象に研修会を実施するなど、連携推進を図る取組を行う。	保幼小連携事業を実施する保育所、幼稚園、小学校の割合	99.0% (R1年度)	目標 99.0 %	実績 84.7 %	達成率 85.6 %	99.0 %	99.0 %	99.0 %	99.0% (R6年度)	継続	1,051	1,051	維持	7,825	順調	年2回の「保幼小連携推進連絡協議会」の開催と、連携担当者と管理職を対象とした研修会を継続することにより、保育所・幼稚園の保育環境から、小学校の学習環境への円滑な接続を図る。	幼児教育充実のため、引き続き、教育環境の整備などに取り組むとともに、保育所、幼稚園等と小学校間が連携し、保育所、幼稚園等から、小学校への円滑な接続を図る。 特別な支援が必要な子どもへの対応の充実にも引き続き取り組む。	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標	
I-1-(4)-① 青少年 健全 育成・ 非行を 生まな い地域 づくり	31	④ ⑧	青少年ボラン ティアステ ーション推 進事業	青少年課	社会の構成員と しての規範意識や 他者への思いやり 等の豊かな人間性 を育むとともに、 社会性や協調性等 を身に付けること ができるよう、青 少年が行うボラン ティア活動を支 援・促進する。	青少年ボラン ティアステ ーションに おけるボラン ティア体験活動者数	6,943人 (R1年 度)	目標	前年度比 (2,329人) 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比 増加 (R6年 度)	継続	1,523	1,462	維持	11,150	大変 順調	ボランティア受け入れ先を 開拓し、豊富な体験活動のプ ログラムの開発・提供を進め ていく。 ホームページの更なる活 用・充実に努める。	次代を担う青少年が社会と の関わりを自覚し、自己を確 立・向上していけるよう、引 き続き、ボランティア活動を 通じた豊富な体験活動プログ ラムの提供と活動支援を進め ていく。 若者の状況に応じて、適切 な時期に的確な支援機関につ ながられるよう、関係機関と の連携をさらに強化してい く。 青少年を有害環境から守る ため、企業・青少年団体・地 域等と連携し、有害環境の浄 化とともに、メディアリテラ シーの向上を図るなどして、 非行防止に取り組む。 警察や薬剤師会、地域団体 等と連携し、薬物乱用の撲滅 機運を高めるための取組を推 進する。 また、協力雇用主や保護司 と連携し、非行少年の立ち直 り支援を進める。	
								実績	2,973 人												
								達成率	127.7 %												
32	④ ⑧	「ユースス テーション」 の運営	青少年課	中学生・高校生 を中心とした若者 の活動拠点とな り、社会参加準備 のためのさまざま な活動を体験する ことができる施設 として「ユースス テーション」の運 営を行う。	ユースステー ーションの利用者数	29,425 人 (R1年 度)	目標	前年度比 (15,309 人) 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度 比 増加 (R6年 度)	継続	45,774	45,774	維持	2,900	順調	引き続き、将来を担う中・ 高校生をはじめとする若者 が、学習や体験、スポーツ・ 音楽活動、仲間との交流など を通じて「自己を発見し、社 会性や自立性を身につける 場」として運営を行う。			
							実績	17,922 人													
							達成率	117.1 %													
33	④ ⑧ ⑰	子ども・若者 応援センター 「YELL」の運 営	青少年課	不安定な雇用や ニート（若年無業 者）、不登校やひ きこもり等、雇用 情勢の悪化や経済 的格差の拡大、家 族や周囲との円滑 なコミュニケー ションの欠如など により、将来を見 通せない不安の中 で、社会生活を円 滑に営む上で困難 を抱えている子ど も・若者が増加し ている。 そのため、困難 を抱える子どもや 若者を総合的にサ ポート（コーデ ィネート）してい く総合相談窓口『子 ども・若者応援セ ンター「YELL」』 において、自立を 支援する。	「YELL」来所相談 者の就業等実績 (累計数) ※中期目標改訂	481人 (R1年 度)	目標	600 人	650 人	650 人	650人 (R6年 度)	継続	24,016	28,431	増額	3,775	順調	複雑な要因により、社会生 活を営む上で「困難」を抱え ている子どもや若者一人ひと りの状況に応じた支援を行う ため、引き続き他機関との連 携や、自立に向けた体験プロ グラムのさらなる充実を図 り、若者一人ひとりの悩みに 応じた対応を行う。  【中期目標の変更内容】 令和4年度、令和5年度の目 標を踏まえ、同数に変更す る。			
							実績	540 人													
							達成率	90.0 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善															
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)										
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標									
34	④ ⑪ ⑰		「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	青少年課	「Ⅰ非行防止対策」「Ⅱ非行からの『立ち直り』支援」「Ⅲ薬物乱用の防止と啓発」「Ⅳ地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。	少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率（暦年統計）	3.6人 (R1年)	目標	前年比(3.4人)減少	前年比減少	前年比減少	R1年比減少 (R6年)	継続	29,895	26,488	減額	15,950	順調	関係機関や団体、地域との連携をより一層推進し、効率的・効果的な事業実施を行い、「青少年の非行を生まない地域づくり」の実現を目指す。事業費については、効率的な運用により令和4年度比減となっている。										
							実績	4.1 人																					
							達成率	79.4 %																					
						北九州市協力雇用主登録業者数	262社 (R1年度)	目標	前年度比(267社)増加	前年度比増加	前年度比増加	R1年度比増加 (R6年度)									継続	29,895	26,488	減額	15,950	順調	関係機関や団体、地域との連携をより一層推進し、効率的・効果的な事業実施を行い、「青少年の非行を生まない地域づくり」の実現を目指す。事業費については、効率的な運用により令和4年度比減となっている。		
							実績	286 社																					
							達成率	107.1 %																					
I-1-(4)-③ 若者の自立支援	35	④ ⑥	若者のための応援環境づくり推進事業	青少年課	不安定な雇用やニート（若年無業者）、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども・若者が増加している。そこで、若者のための応援環境づくりを推進する。	子ども・若者応援センター「YELL」の相談件数	2,900件 (R1年度)	目標	前年度比(2,322件)増加	前年度水準を維持	前年度水準を維持	R1年度比増加 (R6年度)	継続	1,873	1,803	維持	5,525	順調	社会生活を円滑に営む上で「困難」を抱えている子どもや若者が増加しており、抱える問題も複雑化しているため、引き続き、北九州市子ども・若者支援地域協議会の開催等を通じ、他機関等と連携し、若者の支援に取り組む。	順調									青少年を有害環境から守るため、企業・青少年団体・地域等と連携し、有害環境の浄化とともに、メディアリテラシーの向上を図るなどして、非行防止に取り組む。警察や薬剤師会、地域団体等と連携し、薬物乱用の撲滅機運を高めるための取組を推進する。また、協力雇用主や保護司と連携し、非行少年の立ち直り支援を進める。
							実績	2,496 件																					
							達成率	107.5 %																					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標		
36	④ ⑧		不登校状態の子どもに寄り添った次への一歩応援事業	青少年課	不登校状態にある中学生を対象に、卒業後に孤立することがないように、訪問支援等を通じて一人ひとりに寄り添った伴走型支援を行う。	伴走支援を行った結果、改善が見られた人数	14人 (R1年度)	目標 前年度比 (16人) 増加	実績 46 人	達成率 287.5 %	前年度水準を維持	前年度水準を維持	R1年度比増加 (R6年度)	継続	13,000	17,287	増額	5,525	大変 順調	令和3年度から開始した「卒業1年目の要継続支援者」のその後の経過状況等を参考にしつつ、不登校状態にある中学生を対象に、卒業後に孤立することがないように、学校や少年支援室等、関係機関と連携の上、引き続き一人ひとりにきめ細かく支援を行い、社会的自立につなげていく。		
37	④ ⑧ ⑰		子ども・若者応援センター「YELL」の運営	青少年課	不安定な雇用やニート（若年無業者）、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども・若者が増加している。 そのため、困難を抱える子どもや若者を総合的にサポート（コーディネート）していく総合相談窓口『子ども・若者応援センター「YELL」』において、自立を支援する。	「YELL」来所相談者の就業等実績（累計数） ※中期目標改訂	481人 (R1年度)	目標 600 人	実績 540 人	達成率 90.0 %	650 人	650 人	650人 (R6年度)	継続	24,016	28,431	増額	3,775	順調	複雑な要因により、社会生活を営む上で「困難」を抱えている子どもや若者一人ひとりの状況に応じた支援を行うため、引き続き他機関との連携や、自立に向けた体験プログラムのさらなる充実を図り、若者一人ひとりの悩みに応じた対応を行う。  【中期目標の変更内容】 令和4年度、令和5年度の目標を踏まえ、同数に変更する。		

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
	38	④ ⑪ ⑰	「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	青少年課	「Ⅰ非行防止対策」「Ⅱ非行からの『立ち直り』支援」「Ⅲ薬物乱用の防止と啓発」「Ⅳ地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。	少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率（暦年統計）	3.6人 (R1年)	目標 前年比 (3.4人) 減少	前年比 減少	前年比 減少	RI年比 減少 (R6年)	継続	29,895	26,488	減額	15,950	順調	関係機関や団体、地域との連携をより一層推進し、効率的・効果的な事業実施を行い、「青少年の非行を生まない地域づくり」の実現を目指す。 事業費については、効率的な運用により令和4年度比減となっている。		
						北九州市協力雇用主登録業者数	262社 (R1年度)	目標 前年度比 (267社) 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	RI年度 比増加 (R6年 度)									
								実績 4.1 人												
								達成率 79.4 %												
									目標 前年度比 (267社) 増加	前年度比 増加	前年度比 増加									
								実績 286 社												
								達成率 107.1 %												
I-2-(2)-① 成長産業を支える高度人材の育成	39	④	北九州市科学館スペースLABO運営経費	科学館	科学・技術への興味・関心を高める科学館とするため、様々な来館者増に向けた取組を行うもの。取組の一環として、教職員や子ども達へ講座やクラブ活動等を行い、技術系人材の育成を図る。	年間来館者数	—	目標 500,000 人	500,000 人	500,000 人	年間来 館者数 50万人 (毎年 度)	継続	567,578	557,720	維持	128,000	—	開館2年目となる令和5年度は、広報エリアを県外に広げ、九州圏内をはじめとした団体旅行誘致に注力し、平日の入館者増を図る。 また、引き続き、科学への興味関心を高め、科学技術の振興を担う技術系人材の育成を図るとともに、利便性の高い立地や博物館群・商業施設のある周辺環境を活かした販わいの創出を行う。	—	開館2年目となる令和5年度は、広報エリアを県外に広げ、九州圏内をはじめとした団体旅行誘致に注力し、平日の入館者増を図る。 また、引き続き、科学への興味関心を高め、科学技術の振興を担う技術系人材の育成を図るとともに、利便性の高い立地や博物館群・商業施設のある周辺環境を活かした販わいの創出を行う。
II-1-(3)-⑤ 非行や犯罪を生まない地域づくり	40	④ ⑪ ⑰	「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	青少年課	「Ⅰ非行防止対策」「Ⅱ非行からの『立ち直り』支援」「Ⅲ薬物乱用の防止と啓発」「Ⅳ地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。	少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率（暦年統計）	3.6人 (R1年)	目標 前年比 (3.4人) 減少	前年比 減少	前年比 減少	RI年比 減少 (R6年)	継続	29,895	26,488	減額	15,950	順調	関係機関や団体、地域との連携をより一層推進し、効率的・効果的な事業実施を行い、「青少年の非行を生まない地域づくり」の実現を目指す。 事業費については、効率的な運用により令和4年度比減となっている。	順調	青少年を有害環境から守るため、企業・青少年団体・地域等と連携し、有害環境の浄化とともに、メディアリテラシーの向上を図るなどして、非行防止に取り組む。 警察や薬剤師会、地域団体等と連携し、薬物乱用の撲滅機運を高めるための取組を推進する。 また、協力雇用主や保護司と連携し、非行少年の立ち直り支援を進める。
								実績 4.1 人												
								達成率 79.4 %												
									目標 前年度比 (267社) 増加	前年度比 増加	前年度比 増加									
								実績 286 社												
								達成率 107.1 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業所 管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標	
II-3-(1)-④ 子どもの 人権の 尊重	41	③ ⑩	児童虐待防止 (子どもの人 権擁護) 推進 事業	子ども総 合セン ター	児童虐待の早期 発見及び被虐待児 童の迅速かつ適切 な保護を行うた め、関係機関との 連携強化を図り、 児童虐待の防止等 のために必要な 体制を整備すると ともに、関係機関 等の職員の研修を 行う。	児童虐待による死 亡事案の発生件数	0件 (R1年 度)	目標 0 件	0 件	0 件	0 件	0件 (毎年 度)	継続	41,262	30,702	その他	76,500	順調	子ども総合センターの職員 がより深刻なケースに集中し て対応できるよう、児童の安 全確認の一部をNPO法人に委 託する事業を継続して実施 し、積極的に活用する。	順調	「北九州市子どもを虐待か ら守る条例」に基づき、児童 虐待の未然防止に取り組む。 また、児童虐待が深刻化する 前に早期発見・早期対応に取 り組み、子どもの安全を守る ための一時保護や被虐待児の ケア、家族再統合に向けた保 護者への支援等を行うことで 児童虐待の防止に努めるほ か、子どもの心のケアに重点 を置いた取組を強化する。 引き続き、児童虐待対応の ための教育研修を実施し、児 童虐待対応のためのネット ワークづくりを進める。 事業の実施にあたっては、 計画的な研修を通じ、相談員 の資質向上を図るなど効率的 な運営を行う。
	42	③ ⑩ ⑰	児童虐待防止 医療ネット ワーク事業	子育て支 援課	児童虐待の早期 発見、早期対応に つなげるため、中 核的な小児救急病 院等に児童虐待専 門コーディネー ターを配置し、地 域の医療機関から の児童虐待対応に 関する相談への助 言を行うなど、医 療機関を中心とし たネットワークを 構築し、児童虐待 対応への必要な 体制整備を行う。	児童虐待相談対応 件数のうち、「医 療機関」からの件 数	54件 (R1年 度)	目標 前年度水準 (22件) を維持	66 件			R1年度 比維持 (R6年 度)	継続	5,455	5,444	維持	2,240	大変 順調	引き続き、拠点病院に児童 虐待専門コーディネーターを 配置し、医療機関からの児童 虐待に関する相談に対応す る。		
						拠点病院への児童 虐待相談対応件数	534件 (R1年 度)	目標 前年度水準 を維持		前年度水準 を維持	前年度水準 を維持	R1年度 比維持 (R6年 度)									
	43	⑤ ⑯	子ども・家庭 相談コーナー 運営事業	子育て支 援課	各区役所に「子 ども・家庭相談 コーナー」を設 置し、子どもと家 庭に関するあらゆる 相談をひとつの窓 口で受け、ひとり 親家庭の自立支 援、DV被害者対 応、児童虐待等、 それぞれの相談に 応じた支援・対応 を行うとともに、 必要に応じて他 の機関のサービス 支援へとつなげ る。	コーナーの児童虐 待対応件数	537件 (R1年 度)	目標 —	—	前年度比 減少		R1年度 比減少 (R6年 度)	継続	124,815	123,676	維持	6,075	順調	児童虐待に関する相談は増 加傾向にあるため、引き続き 虐待への相談や迅速かつ適切 な支援が行える体制の維持を 図る。		
								実績 —													
								達成率 —													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標				
44	③ ④ ⑬		ヤングケア ラー相談支援 事業	子育て支 援課	ヤングケアラー の早期発見・支援 のため、ヤングケ アラー等からの相 談に対応し、必要 に応じて関係機 関につなぐととも に、アウトリーチ による学校等との 連携、ヤングケ アラーへの支援、広 報・啓発等を行 う。	ヤングケアラーに 関する相談件数	R4年度 相談件 数	目標		相談対応 開始	前年度比増 加	R4年度 比増加 (R6年 度)	拡大	10,000	14,000	増額	2,240	—	ヤングケアラーの悩みなど の傾聴・対応をするため、電 話・電子メール等による相談 業務を継続して行う。 プラン作成業務開始に伴う 相談員の増員のための予算を 増額する。					
								実績													達成率			
45	③ ④ ⑬		<新>ヤング ケアラー支援 訪問事業	子育て支 援課	ヤングケアラー となっている子ど もやその家族の負 担軽減や子どもの 健全育成、児童虐 待防止を図るた め、ヤングケ アラーがいる世帯に 対し、家事や育児 支援を実施する。	ヤングケアラーが いる世帯へのヘル パー派遣実施	実施 (R5年 度)	目標			ヘルパー派 遣開始	継続実 施 (R6年 度)	—	—	5,000	—	2,240	—	令和5年度新たに、ヤング ケアラーがいる世帯に対し、 家事・育児支援を開始し、 ヤングケアラーとなっている 子どもやその家族の負担軽減 や子どもの健全育成、児童虐 待防止を図る。					
								実績													達成率			
IV-3- (2)-② 女性が 活躍す る産業 都市づ くりの 推進	46	③ ④ ⑧	特別保育事業 補助	保育課	保護者の就労形 態の多様化等に対 応するため、保育 所の保育時間を午 後7時もしくは8時 まで延長する「延 長保育」の充実を 図る。また、保護 者のパート就労や 育児リフレッシュ 等の理由により、 一時的に家庭での 保育が困難となる 児童を保育所にお いて保育する「一 時保育」の充実を 図る。さらに、保 育所の通常保育に 加え、延長保育や 一時保育において も、集団保育の可 能な障害のある児 童の受け入れを行 う「障害児保育」 の充実を図る。	午後7時まで延長 保育を実施する施 設の割合	93.9% (R1年 度)	目標	前年度 (94.2%) 同水準	前年度 同水準	前年度 同水準	現状値 と同水 準 (R6年 度)	継続	676,623	623,720	減額	3,650	順調	保護者の就労形態の多様化 等に対応するため、「北九州 市子ども・子育て支援事業計 画」に基づき、事業を継続す る。					
								実績	94.5 %											達成率	100.3 %			
						一時保育事業の実 施施設の割合	56.2% (R1年 度)	目標	前年度 (56.7%) 同水準	前年度 同水準	前年度 同水準	現状値 と同水 準 (R6年 度)												子どもの生活リズムに十分 配慮しながら、保育所におけ る延長保育など、多様なニー ズに対応した保育サービスの 充実を図る。
								実績	58.5 %															